

後発医薬品の軽減額通知による医療費適正化

(管工業健康保険組合)

○取り組みの背景及び目的

後発医薬品の利用促進は患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資することから、厚生労働省はこれを積極的に推進することとし、「平成 24 年度までに後発医薬品の数量シェアを 30%以上にする」という目標を掲げた。こうしたなかで、管工業健康保険組合では、保険給付費や拠出金等の増加による厳しい財政状況の中、保険料率の引き上げを実施する前に、まず健保組合の努力で、少しでも給付費の増加を抑制する方法を検討した結果、加入者に対する、後発医薬品の利用促進事業を実施することとした。

医療機関に受診される者の意識づけ対策として、後発医薬品利用促進のための通知には、後発医薬品に切り替えた場合、どのくらい自己負担額の軽減ができるのか分かるように案内するなどの工夫をしている。

○取り組みの内容

後発医薬品の利用促進案内（軽減額通知）の作成・発送業務は(株)法研と業務委託契約を結び、平成 23 年から 1 月、7 月の年 2 回、個人宛（個封）に発送。

対象者の抽出

- ① 慢性 30 疾患より服薬している 40 歳以上の加入者（任意継続者含む）
（がん・H I V・精神疾患を除く）
- ② 3 カ月の間に保険医療機関等で先発医薬品の投薬を受けた者
- ③ 後発医薬品への切り替え差額が 400 円以上（65 歳以上は 100 円以上）
（平成 23 年 1 月と 7 月については、30 歳以上の加入者（任意継続者含む）で切り替え差額 250 円以上の人へ発送した。（それぞれ 2 カ月分のレセプトを抽出）

「ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ」

「ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ」は両面印刷とし、表面は後発医薬品の案内（当健保組合オリジナル）、裏面には特定の期間に投薬を受けた先発医薬品の実績に対し、後発医薬品に切り替えた場合の医薬品名や製薬会社、節約できる額等をわかりやすく表示している。また、医療機関で後発医薬品へ切り替えの希望を伝えやすくするために、通知書の一部を切り取って使用できる「ジェネリック医薬品お願いカード」を印刷している（別添 1）。

【事例 2 1】

（補足 1）

平成 23 年 7 月（2 回目）発送時には、アンケートを同封して、後発医薬品に対する意識調査を行った。当時は、「今後切り替えするつもりである」との回答がある一方、「切り替えることへの不安」、「医師に言い出しにくい」、「医療機関で後発医薬品に変更してもらえなかった」などの意見や感想が寄せられた。平成 24 年 1 月（3 回目）の案内には、アンケートで多かった意見・感想の上位 3 つを Q&A 形式にデザイン変更を行うなど、後発医薬品を身近に感じてもらえるよう工夫をしている。

（補足 2）

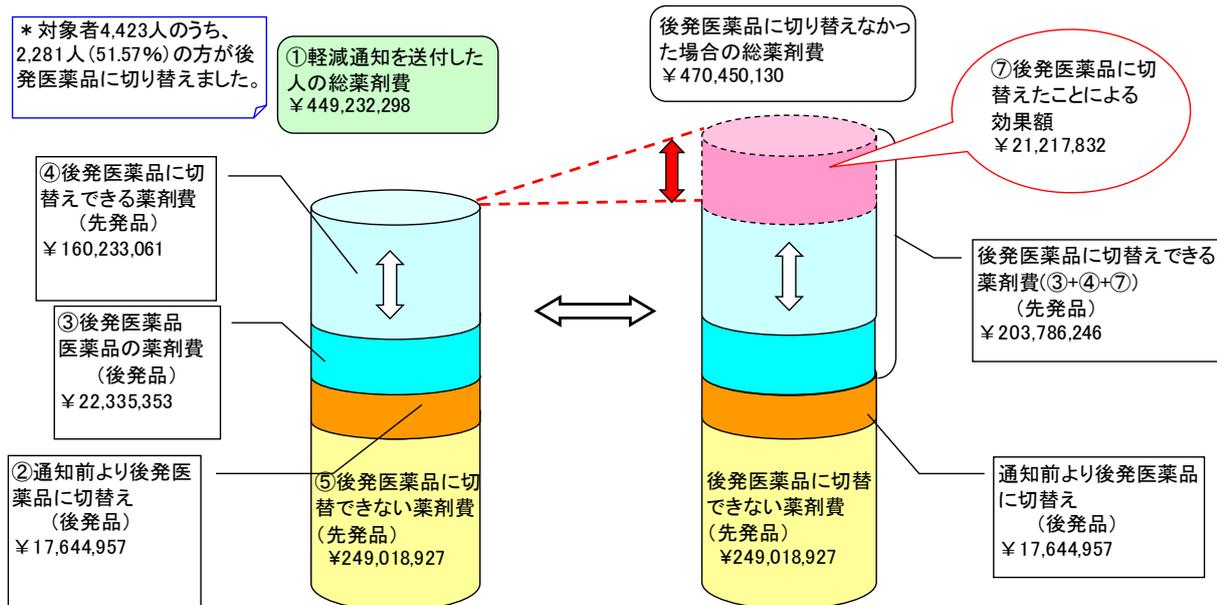
管工業健保組合では、平成 21 年 4 月に「ジェネリック医薬品推進協議会」を設置。

事務職員と医療職員（医師・保健師・看護師・薬剤師）で構成され、それぞれの専門性を活かした役割で出来ることからはじめた。6 月には利用促進に関する PR 誌やパンフレット・ポスター等を作成し、広報活動を行った。医療職員により、健診に訪れた受診者との面談時間を使って後発医薬品の啓発活動を開始。薬剤師による電話相談も行った。

○効果

平成 23 年 1 月に第 1 回目を送付した 4,423 人の平成 23 年 2 月から平成 24 年 1 月までの 1 年間における薬剤費の変化を集計・分析した結果、51.6%の人が後発医薬品に切り替え、約 2100 万円の効果が出た（図 1）。

【事例 2 1】



発送対象月の薬剤費内訳(4,423人)								
【通知前】 発送対象 診療年月	①総薬剤費 (=②+③+④+⑤)	②通知前より 後発医薬品に 切替	③後発医薬品 の薬剤費	④後発医薬品 に切替できる薬 剤費	⑤後発医薬品 に切替できな い薬剤費	⑥後発医薬品使 用率 (=(②+③)/① *100)	⑦効果額	
平成22年8月診療分	¥42,621,709		¥2,140,890	¥20,482,365	¥19,998,454	5.02%		
平成22年9月診療分	¥42,045,247		¥2,291,341	¥20,128,866	¥19,625,040	5.45%		
平均	¥42,333,478		¥2,216,116	¥20,305,616	¥19,811,747	5.24%		
【通知後】								
H23.2~ H24.1	合計	¥449,232,298	¥17,644,957	¥22,335,353	¥160,233,061	¥249,018,927	8.90%	¥21,217,832

図 1. 第 1 回 (平成 23 年 1 月 20 日) 発送後の効果測定結果

表 1. 平成 23 年度及び 24 年度の後発医薬品軽減額通知の効果

	平成 23 年度	平成 24 年度
通知発送件数 (件)	9,422	8,855
所要経費 (千円)	5,000	4,500
効果額 (千円)	29,000	22,000 (推定)

○費用および財源

実施に伴う年間経費は、年 2 回発送と年間のレセプトデータ管理料・効果測定等で 450 万円程度となっている。

【事例 2 1】

○事業評価

後発医薬品利用促進案内（軽減額通知）を送付する前から、後発医薬品の啓発活動を実施していたことで、受け取った方々に受け入れやすかったと考える。

管工業健康保険組合健康管理センターの受診者に、問診・面談の際に啓発活動を行っていた看護師によると、男性の受診者よりも女性の受診者（被扶養者）のほうが関心を持ち、夫（家族）の分も含め切り替えの意向を示す人が多かった。家計をあずかる主婦へのアプローチは有効的である。

一方で、「切り替えを希望したが医者が応じてくれないので健康保険組合から言ってもらえないか」、地方の方からは「地元の病院はほとんど院内処方だから替えられないし、調剤薬局もない」など、本人が希望しても切り替えられない現状がある。

ただし、本人の行動変容（切り替えの意思表示すること）によって、確実に薬剤費が軽減されるため、継続事業として平成 25 年度も 2 回の送付を予定している。

○健保組合情報

- ・被保険者数（平成 25 年 5 月末現在）：58,089 名（男性 83.9%、女性 16.1%）（平均年齢 42.9 歳）
- ・加入者数（平成 25 年 5 月末現在）：116,346 名
- ・事業所数（平成 25 年 5 月末現在）：920
- ・保険料率（平成 25 年 3 月末現在）：92.0‰
- ・経常支出合計（平成 24 年度決算）：約 291 億円（うち保健事業費：2.6% 約 7 億円）
- ・業態：建設業

【事例 2 1】

別添 1. 通知の例

(表) ジェネリック医薬品
利用促進のお知らせ

〒



このお知らせは、薬局や病院でお薬をもらっている方の中で、比較的ジェネリック医薬品に切り替えやすく、かつ自己負担額が400円以上(65才以上の方は100円以上)の軽減が見込める40才以上の方を対象にお送りしています。

裏面にはジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の自己負担額がどれくらい軽減できるのかを一例として掲載しています。

ジェネリック医薬品への切り替えについては、このお知らせもしくはご希望のカードを切り取って、かかりつけの医師・薬剤師等にご相談ください。

(切り取り)

ジェネリック医薬品 お願いカード

私はジェネリック医薬品の
処方を希望します

氏名

管工業健康保険組合

様が平成24年04月 処方分を
全てジェネリック医薬品に切り替えた場合



2,199~2,235円 節約可能です。

※上記金額について、裏面に詳しい内容を記載しておりますので、ご覧ください

お薬代が安くなる!! ジェネリック医薬品に切り替えることを 検討してみませんか?

ジェネリック医薬品が
利用しやすくなりました!

医療機関で処方せんをもらったら一度確認してみましょう。
処方せんの変更不可欄に「✓」や「×」の記載と医師の署名がない場合は、ジェネリック医薬品に変更することができます。
まずは、薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品は
どこの薬局でも
扱っていますか?

「ジェネリック医薬品推奨マーク」
が提示されている薬局を探して
行くことをお勧めします。
また、当組合のホームページから
も検索できます。

今、飲んでいるお薬について
調べてみましょう。

日本ジェネリック医薬品学会ホームページ「かんじゃ
さんの薬箱」では、処方されたお薬の名前を入力
するとジェネリック医薬品が検索できます。
かんじゃさんの薬箱 <http://www.generic.gr.jp/>

※このお知らせは医療機関からの請求書に基づいて作成されております。また、ご案内したジェネリック医薬品はこのお知らせを発行した時点のものです。

お問い合わせ先窓口

管工業健康保険組合 業務部 審査課 TEL:03-3291-4421 (代表) (平日9:00~17:00)

※ジェネリック医薬品については当組合ホームページ (<http://www.kankenpo.or.jp>) でもご案内しておりますのでご参照ください。

(裏)

平成24年04月 の処方実績				ジェネリック医薬品に切り替えた場合							
薬局/ 病院名	先発医薬品名	薬価	数量・単位	あなたが支払った額 ※	ジェネリック医薬品名	製薬会社名	薬価	数量・単位	切替後支払額	節約できる額 ※	
アラー薬局	・ ラソプラゾール錠15	95.2	126 錠	¥1,200	ランソプラゾールOD錠15mg(DK)	大興	37.7	126 錠	¥475	¥725	
					ランソプラゾールOD錠15mg(JG)	日本ジェネリック	37.7	126 錠	¥475	¥725	
					ランソプラゾールOD錠15mg(F3)	チバ	40.0	126 錠	¥504	¥696	
	・ アスピリン錠100	84.7	126 錠	¥1,067	アスピリン錠100	ニプロファマ	34.2	126 錠	¥431	¥636	
					アスピリン錠100	沢井	9.6	63 錠	¥60	¥385	
	・ メンテート錠2.5	70.6	63 錠	¥445	メンテート錠2.5	沢井	9.6	63 錠	¥60	¥385	
					メンテート錠2.5	全量	9.6	63 錠	¥60	¥385	
	・ シグマト錠5mg	24.5	189 錠	¥463	ニコラジス錠5mg	日医工	5.6	189 錠	¥106	¥357	
					シルビノール錠5mg	日新山形	5.6	189 錠	¥106	¥357	
					ニコラジス錠5mg(サ74)	メデイサ	6.0	189 錠	¥113	¥350	
・ クラウチン錠40mg	26.5	63 錠	¥167	クラウチン錠40mg	チバ	5.6	63 錠	¥35	¥132		
				クアアクト錠40mg	東和薬品	5.6	63 錠	¥35	¥132		
				ルイニア錠40mg	日新山形	5.6	63 錠	¥35	¥132		
計				¥3,342					右は全ての薬剤を差額の最も大きいものに切り替えた場合の金額です⇒	¥1,107	¥2,235

※窓口での実際のお支払額には、技術料・指導料・検査費用などが含まれているため、実際の金額とは異なることがあります。

(3715-1)